

# 私の平成 私の未来

あなたにとって平成とはどんな時代でしたか？  
 そしてどんな未来を心に描いていますか？  
 4組の方が紡ぐそれぞれの平成物語と未来へのメッセージです。

## 本市最高齢

江口マツヨさん（108歳） 茶寿



本市最高齢の江口マツヨさん（写真中央）は、甌島の里町に伝わる伝統芸能「内侍舞」の踊り手「内侍」に中学校3年生のときに選ばれ、約80年にわたり踊り手や指導者として携わってこられました。

お茶を飲むのも、おやつを食べるのも、まずお辞儀をしてから。感謝しながら口に運ぶその姿には、明治・大正・昭和・平成と歴史を紡いできた重みを感じます。

江口さんにとっての平成は、家族との時間を大事にされた時代でした。お世話をする2人の娘さんは、「どこにも出掛けることができなけれど、ただ母がいてくれるだけで私たちは幸せです。1日でも長く一緒にいたいです」と語っていました。



▲暖かいときは、散歩するほどお元気です。

## 新元号元年はママ元年

隈本未来さん（29歳）

屈託のない笑顔がとてもすてきな隈本さんは、出産を間近に控え、保健センターで「まみーずサロン」に参加中。

生まれてくるお子さんが健康であってほしいと、「食事や運動、感染症などに敏感にな

り、人一倍気を付けるようにになりました」と語る隈本さんの顔は、もうすっかり優しいママの顔に。「私は平成に生まれ、育ちましたが、我が子は改元後に生まれてくる時代になります。新しい時代を家族みんな



▲シミュレーション用の人形で練習中！

## 平成最後の

### 成人式実行委員長

桃菌雄介さん（20歳）



▲生涯学習フェスティバルでの一幕

今年成人となった桃菌さんは、人生に一度の成人式を楽しみたいと、実行委員会の委員長を務めた活動的な若者です。

平成は、災害や凶悪事件などの暗いニュースが多かったと話す桃菌さんですが、本人にとっては、「たくさんの人と出会い、いろいろなことにチャレンジできた時代でした。成人式実行委員長もその一つで、大変だったけど楽しかったです」と笑顔を見せてくれました。

現在、大阪府の近畿職業能力開発大学校に在学中で、将来の夢はシステムエンジニアになることと、幸せな家庭を築くこと。「次の時代の主役は我々若い世代。責任ある大人として、より良い時代をつくってきたい」桃菌さんの目は夢と希望にあふれていました。

## 夫婦そろって

### 平成元年生まれ

寺脇龍之介さん（29歳）

麻衣さん（29歳）

蒼人くん（1歳）



▲蒼人くんもインタビューに答えてくれました。



「平成は、情報化社会という印象」そう語るのは、現在結婚3年目で、実家の電気屋を継ぐため奮闘中の寺脇さん夫妻。昔は公衆電話を使っていたのに、今はスマートフォン一つで電話だけでなく、インターネットや買い物支払いなど何でもできて、本当に便利になったと感じる一方で、自分たちが子どもの頃は外で走り回って遊んでいたのに、現代の子どもたちは、そうした経験や、地域とのつながりが希薄になっていると感じることも。

「時代が変わっても、子どもたちが元気に外で走り回って、地域が温かく、社会全体で支え合える、活気ある時代であってほしいですね。私たち夫婦も蒼人たちのためにできることを一つずつ頑張っていきたい」と語っていました。